

大念佛

No.98

発行／融通念佛宗
総本山 大念佛寺大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026このQRコードで
大念佛寺にアクセスできます。大念佛寺で検索
<https://www.dainenbutsuji.com/>

題字：融通念佛宗 管長 吉村暉英

大源山六十七セミ暉英

恭賀新春

融通念佛宗管長 吉村暉英

令和六甲辰年の新春を寿ぎ、
檀信徒各位のご多幸を祈念申
し上げます。この地上には今
も戦火がここかしこで燃え盛
っています。戦火に怯える事
のない平和樂土を願うとともに、
私たち人間の心の中に菓食う
貪瞋煩惱の火も鎮まって、仏
國土への誘いを心待ちにし

て”我此土安穩”と揮毫いた
我此土安穩——出典は法華經
(妙法蓮華經)第十六章、如
來壽量品です。「衆生劫尽き
山(ここでは広く仏國土を指
す)は安泰で、平穩そのもの
であるというのです。それに
対し、私たちの住む娑婆には
煩惱の火が燃え盛っています。
方法が説かれています。これ

えて、劫火という大きな火災
に見舞われることがあつても、
お釈迦様が説法をされる靈鷲
山(ここでは広く仏國土を指
す)は安泰で、平穩そのもの
であるというのです。それ
ぞこの世に生きている事は、日々
苦惱との葛藤です。しかしこ
れでは火は消えないのです。

法華經には受持(篤い信心を
もつてお經を所持する)、読誦、
解説、写經と言う四つの修行
方法が説かれています。これ
によつて大いなる幸せの道
が必ず拓けるのです。これを
私は融通無碍の大道と言つて
います。

夏休み子ども寺子屋体験修行

今年は、七月二十一日～二十二日の一泊二日の日程で、河内長野市にある岩湧寺において、開催されました。

岩湧寺は、国の重要文化財に指定されていて、岩湧山（標高八九七メートル）の険しい山腹（標高四九六メートル）に位置し、伏たちは修道場として栄えたと言われています。

体验修行は、お経をあげたり、食事を作ったり、食事作法をしたり、山登りをしたりなど行事が盛りだくさんです。その中でも印象に残ったのは、お経をあげた事がない子どもたちが、いきなり古刹の本堂で、正座をしてお経をあげるなんて、さぞドキドキしたことでしょう。そのためか、最初はみんなバラバラ

で小さかった声が、時が経つにつれて、だんだん渝つて大きな声となり、最終的には本堂の外にも聞こえる程になっていました。その頃には岩湧山の自然と子どもたちが一体となつて、漠然と「守られてるな」と勝手に感じていました。

また、岩湧山山頂への山登りでは、山伏も歩いたという険しい道を山頂に行き、山頂からの景色を見るという同じ目標に向かって、子どもたちとスタッフが、ひたむきに歩く姿がありました。

時には、とてもきつい坂道を、体验修行で初めて出会った子ども同士が励ましあったり、頂上も同士が励ましあったり、頂上ではお互い「頑張ったね」と言いあって、はしゃいでいる姿がありました。その光景を見て、私はみんなの気持ちが一つになっていくなど感じ、みんなで頑張れば困難も乗り越えられると感じていました。そんなことを子供たちにも感じてもらえていたら、嬉しいなと思っています。

一泊二日という短い期間の体验修行でしたが、子どもたちのこれから的人生の糧に少しでもなると嬉しいです。今年も楽し

かかったです。

五教区西方寺 篠塚良嗣

大阪の宝を、日本の宝に。

The treasure of Osaka will become the treasure of Japan.

クラウドファンディング ご支援誠にありがとうございました

二〇二三年八月二十一

日に始まったクラウドファンディング。あたなかいご支援と応援を賜り、誠にありがとうございました。

体验修行で初めて出会った子ども

も同士が励ましあったり、頂上

を終える十月十六日、改め

てお経をあげるなんて、さぞド

キドキしたことでしょう。その

ためか、最初はみんなバラバラ

と「つながり」たいとの

気持ちで皆様にお願いを

してまいりました。結果

として当初の第一目標金

額を上回る一千四百四十

万円のご支援を、二百

三十三名を超える皆様か

ら賜ることができました。

ご厚志は現在推し進めて

いる改修事業の一助とし

て活用させていただきます。

出版社 興山舎

奈良県生駒郡斑鳩町
淨念寺
横田丈実 住職 共著

出版社 講談社
寝屋川市 堀溝
大念寺
関本和弘 副住職 共著

『月刊住職』編集部編
（税込二千二百円）
『月刊住職』編集部編
（税込千七百六十円）
『月刊住職』編集部編
（税込一千三百円）
『月刊住職』編集部編
（税込一千五百円）

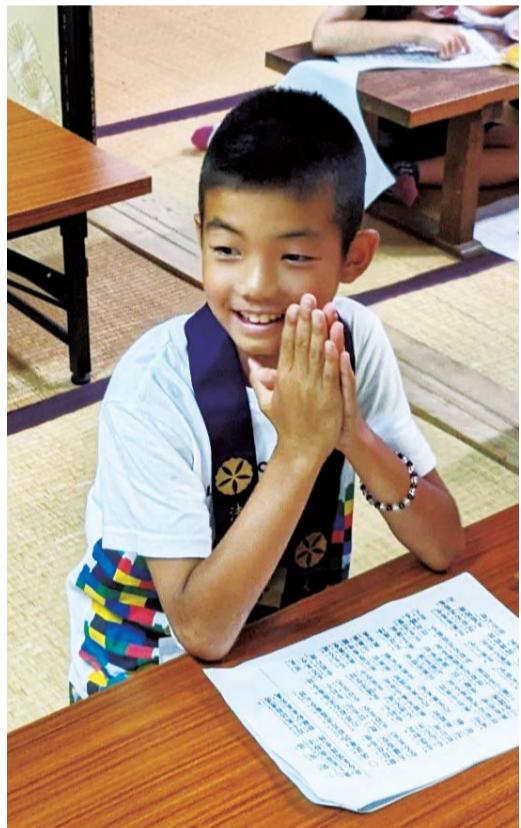
あなたのお坊さんが
スッキリ解決！

10人の住職

心をスーと
ほぐしてみませんか？

あなたのお坊さん
とでしよう。

融通念佛宗僧侶関連の出版本紹介



お寺の月刊誌と言われている『月刊住職』編集部が読めば会いたくなる住職を十人に注目をする本で横田丈実住職が選ばれました。住職として、映画監督としてまた舞台演出家として、数々の作品を通して柔らかく仏教を伝えられています。その活動が本に記載されています。

現在、「肩を寄せあって」横田丈実住職の映画作品が公開中。詳しくはインターネットで「映画監督横田丈実 OFFICIAL WEBSITE」検索ください。

皆様からいただいたお心の灯火一つずつが「照らし」「照らされて」大きな灯火となり日本の宝を

明るく輝かせてくれるこ

とでしよう。

○お問い合わせは書店またはインターネットで検索して

大念佛寺 インスタグラム 始めました

DAINENBUTSUJI.1117

QRコードでアクセスできます。



フォローしてね

原布施屋（宿泊施設）を九箇所造営し、その一つがこの地に造られ、「石基年譜」（一一七五年成立）に記されています。開基は不明です。

府全誌によれば地蔵菩薩坐像には永享四年（一四三二）の刻銘があり享禄年中（室町時代）に納められたとの記載があります。又、大念佛寺所蔵の末寺帳によると元々は浄土宗だったものを寛文六年（一六六六）に融通念佛宗に改宗したとされています。又、明治五年七月には金田村郷学石原出張場が当寺本堂に開校され、南八下小学校発祥

の路傍で餓死する者が出ました。そこで天平一三年（七四一）頃に行基がその人々を救済するために布施屋（宿泊施設）を九箇所造営し、その一つがこの地に造られ、「石基年譜」（一一七五年成立）に記されています。

原布施屋（宿泊施設）を九箇所造営し、その一つがこの地に造られ、「石基年譜」（一一七五年成立）に記されています。開基は不明です。

府全誌によれば地蔵菩薩坐像には永享四年（一四三二）の刻銘があり享禄年中（室町時代）に納められたとの記載があります。又、大念佛寺所蔵の末寺帳によると元々は浄土宗だったものを寛文六年（一六六六）に融通念佛宗に改宗したとされています。又、明治五年七月には金田村郷学石原出張場が当寺本堂に開校され、南八下小学校発祥

の地でもあります。本堂には牛頭天王坐像が安置されていますが、牛頭天王とは印度の祇園精舎の守護神であり、日本においては京都祇園の八坂神社などに祀られて病氣や災いを除く神として信仰されています。その姿は一定していませんが牛頭を頭上に戴くことは共通しています。

当寺の像は元は隣接する八坂神社に祀られていたもので明治の神仏分離に際して移されました。本像は三面四臂（顔が三面、手が四本）の明王形ですが、正面から見ると三面であることを感じさせながら直接的な怒りを表さない穏やかな感覚で表現されています。頭と胴体の中心部は一材で彫出され、比較的スマートな体つきや浅い彫り口などから平安時代後期の制作と考えられます。尚、昭和四七年には大阪府指定有形文化財に指定されていました。

.

「令和の本堂大改修」大阪府下最大の木造建築物にあなたの名前を残しませんか

本堂に載る銅板の瓦勧進は7月末日まで

▼四角で囲む周辺にて行います

瓦勧進のお願い 残しませんか

御寄進を募っています

令和の本堂 大改修

令和7年完成予定

今蘇る日本最古の念仏道場の雄姿

元祖聖應大師 良忍上人

九百回御遠忌 大法要

令和13年5月1日～5月7日

大阪府下最大の木造建築物にして日本国内最初の念仏根本道場である本堂大屋根改修を成満達成するため、有縁無縁を限ることなく広く多くのご支援をお待ちしています。

「令和の本堂大改修」瓦勧進の種類

- 5,000円 寄進者のお名前を芳名帳に記帳させていただきます
- 10,000円 銅板瓦(1枚につき連名列記)
- 30,000円 銅板瓦1枚に家族名記入(最大6名まで記入可能)
- 50,000円 銅板瓦1枚に寄進者名と祈願文を記入いたします
- 100,000円 銅板瓦1枚に寄進者名と祈願文を記入いたします（「自分の銅板が葺かれる」現場見学会にご招待）(40組限定)
- 200,000円 銅板瓦1枚に寄進者名と祈願文を記入いたします(竣工法要に特別ご招待)

※「瓦勧進」をしていただいた皆様より多く耳にした「寄進した銅板に書かれた文字が見た」「銅板瓦はどのあたりに葺かれるのか知りたい」というお声から、思いのこもった銅板が屋根に葺かれる瞬間を窓近で見ていただきたいと考え、施主様お立会いのもとで銅板設置作業を執行することにいたしました。

▼現場見学会

私は九年前にネコの里親になつて以来、ネコについて興味を持っています。ネコは干支の十二支には入つていませんが、招き猫など縁起のいい動物として、また街の中をのんびり歩いていたりと私たちの生活に身近な生き物です。

特に仏教徒はネコに感謝しなければならないと思っています。私のお寺の蔵には、"ネコ蔵"という呼び名がついています。そこにお経を納めておくための蔵なのですが、何故ネコという名前がついているのか疑問に思いました。調べてみると、日本が仏教を大陸から輸入しようとしたとき、船に大量の書

物（経典、医学、建築など）を輸入していました。そのときに、ネズミが紛れ込んで、大切な書物をかじってしまう可能性があつたため、それを予防するためにはネコが大陸から輸入されたのです。ですので、今現存するネコのほとんどは大陸からやつてきたわけです。ネコが書物を守ってくれたおかげで、今の日本の仏教があるという思いや、サッ処分ゼロという考え方から、地域ネコ活動に興味をもっています。また、ネコに優しい街は犯罪率が低いというデータもありますので、是非街で住んでいる地域ネコを温かい目で見ていただけることを願っています。

光雲

大念佛寺年中行事（一月～七月）について

「大念佛寺令和の本堂大改修」に伴い、皆様には大屋根銅板瓦の御寄進を数多く賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。

令和五年より本堂大改修に伴い、本堂で行っているすべての法要を瑞祥閣で執行しています。

ご不明な点は下記のお問い合わせまでご連絡ください。

年中行事ご案内

河内御回在御帰院（瑞祥閣）	◎五月二十九日（水）■午後三時頃
修正会（瑞祥閣）	◎一月一日（月・祝）■午前五時
融通念仏会（瑞祥閣）	◎一月十六日（火）■午前十一時
百万遍会（大数珠くり）（瑞祥閣）	◎一月十六日（火）■午後一時
寒行	◎二月三日（土）■午前九時三十分
元祖忌法要（瑞祥閣）	◎二月二十六日（月）■午後一時
毘沙門天護摩供養	◎二月三日（土）■午前七時
大般若転読（瑞祥閣）	◎二月三日（土）■午後二時
再興忌法要（瑞祥閣）	◎三月五日（火）■午後一時
河内御回在御出光（瑞祥閣）	◎三月三日（日）■午前七時
写經奉納供養・筆供養（写經塚・筆塚）	◎三月三十日（日）■午後一時三十分
東照大權現忌（靈明殿）	◎五月二十一日（水）■午後一時
融通念仏会（瑞祥閣）	◎五月一日（水）～五日（日・祝）
百万遍会（大数珠くり）（瑞祥閣）	◎五月十六日（木）■午前十一時
万部法要	◎五月一日（水）～五日（日・祝）
東照大權現忌（靈明殿）	◎五月二十一日（水）■午後一時
融通念仏会（瑞祥閣）	◎五月二十九日（水）■午後三時頃
中祖忌法要（瑞祥閣）	◎六月十五日（土）、十六日（日）■午後一時
鳥羽上皇忌（靈明殿）	◎七月七日（日）■午後一時
大念佛寺仏教講座（延喜殿三階）	◎七月十日（土）■午後一時
保管靈骨追善法要（樂邦殿）	●毎月第一水曜日 ■午後一時～四時三十分
定例布教（日曜日の時は二十七日）	●毎月二十六日 ■午後一時三十分
大念佛寺佛事講座（延喜殿三階）	●毎月第二水曜日 ■午後一時～四時三十分
河内御回在御帰院（瑞祥閣）	●毎月第二水曜日 ■午後三時頃

融通念仏会（瑞祥閣）	◎五月二十九日（水）■午後三時頃
修正会（瑞祥閣）	◎一月一日（月・祝）■午前五時
融通念仏会（瑞祥閣）	◎一月十六日（火）■午前十一時
百万遍会（大数珠くり）（瑞祥閣）	◎一月十六日（火）■午後一時
寒行	◎二月三日（土）■午前九時三十分
元祖忌法要（瑞祥閣）	◎二月二十六日（月）■午後一時
毘沙門天護摩供養	◎二月三日（土）■午前七時
大般若転読（瑞祥閣）	◎二月三日（土）■午後二時
再興忌法要（瑞祥閣）	◎三月五日（火）■午後一時
河内御回在御出光（瑞祥閣）	◎三月三日（日）■午前七時
写經奉納供養・筆供養（写經塚・筆塚）	◎三月三十日（日）■午後一時三十分
東照大權現忌（靈明殿）	◎五月二十一日（水）■午後一時
融通念仏会（瑞祥閣）	◎五月一日（水）～五日（日・祝）
百万遍会（大数珠くり）（瑞祥閣）	◎五月十六日（木）■午前十一時
万部法要	◎五月一日（水）～五日（日・祝）
東照大權現忌（靈明殿）	◎五月二十一日（水）■午後一時
融通念仏会（瑞祥閣）	◎五月二十九日（水）■午後三時頃
中祖忌法要（瑞祥閣）	◎六月十五日（土）、十六日（日）■午後一時
鳥羽上皇忌（靈明殿）	◎七月七日（日）■午後一時
大念佛寺佛事講座（延喜殿三階）	◎七月十日（土）■午後一時
保管靈骨追善法要（樂邦殿）	●毎月第一水曜日 ■午後一時～四時三十分
定例布教（日曜日の時は二十七日）	●毎月二十六日 ■午後一時三十分
大念佛寺佛事講座（延喜殿三階）	●毎月第二水曜日 ■午後一時～四時三十分
河内御回在御帰院（瑞祥閣）	●毎月第二水曜日 ■午後三時頃

謹賀新年

融通念佛宗總本山 大念佛寺

管法長 吉村 晴英
宗務總長 田中 瑞修
教學部長 吉井 良久
庶務部長 好野 良博
財務部長 佐々木智祥

△〇六一六七九一—〇〇一六

★納骨のご案内

午前九時三十分より午後四時まで年中無休で宗派は問わず納骨を受け付けています。
尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ下さい。

●日程については、変更になる時もございます。

●お問い合わせ

大念佛寺宗務所

午前九時三十分より午後四時まで年中無休で宗派は問わず納骨を受け付けています。
尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ下さい。

●日程については、変更になる時もございます。

●お問い合わせ

大念佛寺宗務所